

小金井 3・4・11 だより

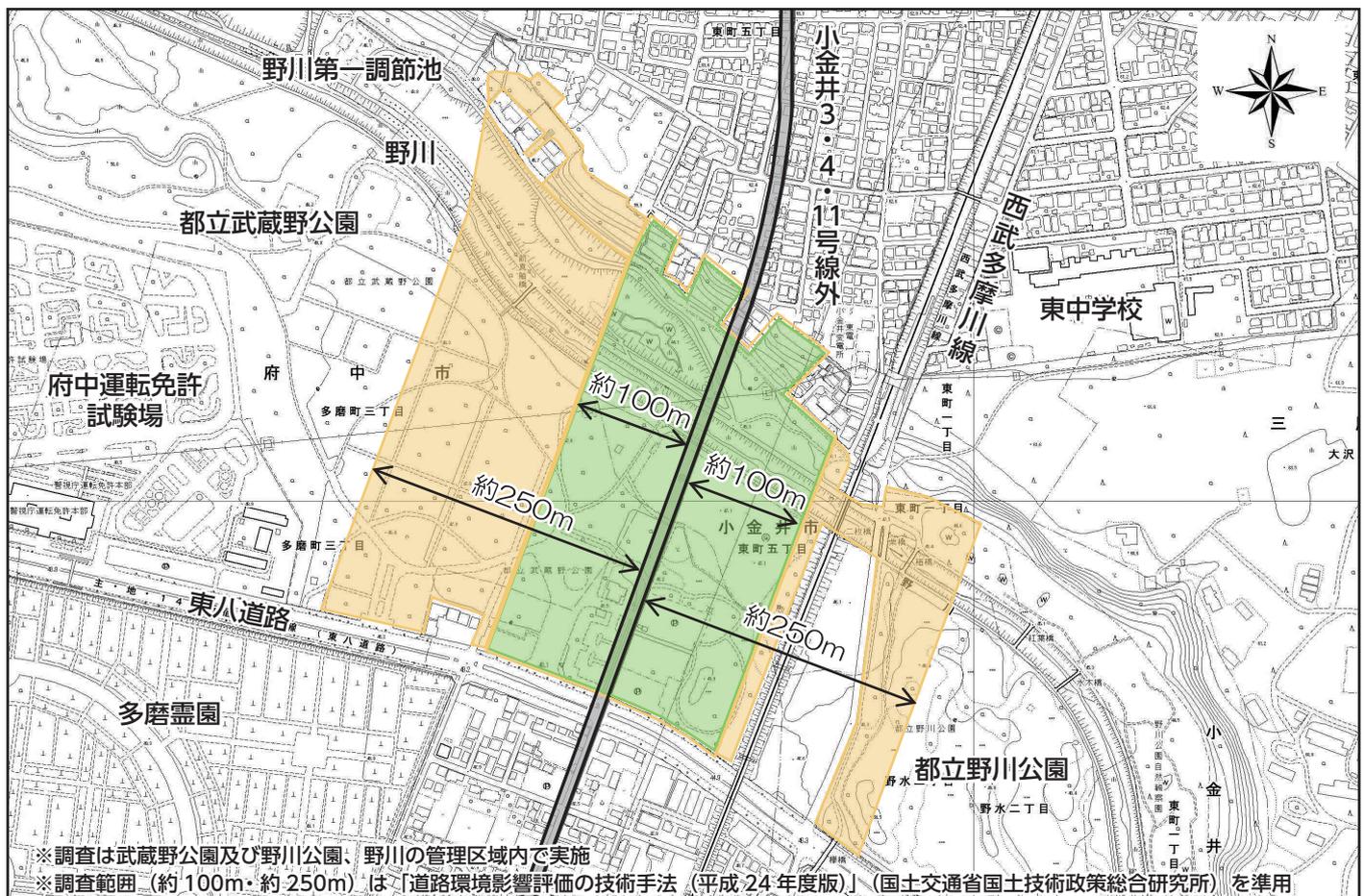
2021年
11月発行

東京都建設局が整備に向け検討している小金井都市計画道路 3・4・11 号線外※は、自然が多く残っている地域を通過することから、昨年秋より、計画道路周辺における動物や植物の生息・生育状況を把握することを目的に環境調査を実施しました。

この度、調査の結果がまとまりましたのでお知らせします。

なお、本路線は、東京都環境影響評価条例に基づいた環境影響評価手続きの対象ではありませんが、条例に準じた調査を実施しています。※小金井3・4・11号線及び府中3・4・16号線

調査範囲



凡例

計画道路 植物調査範囲 動物調査範囲

※小金井 3・4・11 号線外の整備に当たっては、様々な意見等が寄せられていることから、東京都では、これまでも、市民の皆様との意見交換会や説明会、オープンハウスを開催してきました。

これらの詳しい情報や市民の皆様から寄せられた意見等については、下記の北多摩南部建設事務所のホームページの『お知らせ』に掲載しています。

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/kitanan/index.html>

問合せ先  東京都 北多摩南部建設事務所 工事第一課
東京都 建設局 道路建設部 計画課

TEL 042-330-1836
TEL 03-5320-5323



環境調査（動植物）のあらまし

○調査期間

令和2年11月から令和3年8月まで（春季、夏季、秋季、冬季で実施）

○調査方法

- ①植物（直接観察） ②哺乳類（フィールドサイン法、トラップ法）
- ③鳥類（ラインセンサス法、定点観測） ④両生類・爬虫類（直接観察）
- ⑤魚類（投げ網等による捕獲） ⑥底生動物（タモ網等による採集）
- ⑦昆虫類（ビーティング法、スウィーピング法、ライトトラップ法等）

※調査方法は「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版）」（国土交通省国土技術政策総合研究所）を準用

○調査結果

植物493種、動物549種が確認されました。

（哺乳類3目4科4種、鳥類10目25科35種、両生類・爬虫類3目7科8種、昆虫類14目136科425種、魚類3目4科11種、底生動物18目37科66種）
この内、保護上重要な野生生物種として次の動植物が見つっています。

	「環境省レッドリスト2020」 掲載種	「東京都の保護上重要な野生生物種2020（北多摩、多摩部）」掲載種
植物	カワジシャ、キンラン、ミクリ	ウキヤガラ、カワヂシャ、キンラン、ササバギンラン、ナツノハナワラビ、ニリンソウ、ノカンゾウ、ミクリ、ミコシガヤ ※植栽されたものを除く
哺乳類	－	－
鳥類	オオタカ	イカル、オオタカ、オナガ、カワセミ、クイナ、センダイムシクイ、モズ
両生類 爬虫類	－	アオダイショウ、ヒガシニホトカゲ、ヒキガエル、ニホンカナヘビ、ニホンヤモリ
魚類	ドジョウ類、ミナミメダカ	オイカワ、ドジョウ類、ヒガシシマドジョウ、フナ類、ミナミメダカ
昆虫類	エノキカイガラキジラミ、 モンズズメバチ	ウバタマムシ、オオアメンボ、トラフカミキリ、ハグロトンボ、ハラビロトンボ、ヒオドシチョウ、リスアカネ
底生動物	ナガオカモノアラガイ	スジエビ、ナガオカモノアラガイ



キンラン



イカル



リスアカネ



ヒガシシマドジョウ

今、東京都が行っていること

東京都は、小金井3・4・11号線外の整備に当たり、これまで環境調査（動植物）や地質調査を実施しており、現在、地下水調査を実施しています。また、本路線周辺で実施している「武蔵野公園生物多様性保全利用計画」の検討や「野川第一・第二調節池地区自然再生事業」とも連携し、情報を共有しています。

今後、それらの結果を基に、必要な保全対策の検討を実施するとともに、自然環境や景観に配慮しながら道路構造等の検討を進めていきます。

※本調査に関する詳しい情報は、別途、北多摩南部建設事務所のホームページに掲載する予定です。